

平成30年度
事業報告書
(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

社会福祉法人 日辰会

平成30年度社会福祉法人日辰会

事業報告書

平成30年度の報酬改定により、大幅な収入減となりました。それぞれの分野で経営努力をしましたが、大変厳しい1年でありました。

法人としては、いかなる場合であっても“利用者さんの思いや健康を大切に支援する”ことを基本として法人運営を致しました。

1. 当年度事業

法人として平成30年度下記事業を実施しました。

(1) 第二種社会福祉事業

・多機能型事業所の経営

(就労継続支援B型) 定員38名

ロータス授産センター (定員28名) 平塚市出縄336番5

ロータス授産センター分場 (定員10名) 伊勢原市伊勢原2-5-9

(生活介護) 定員12名

ロータス授産センター

平塚市出縄336番5

・共同生活援助(介護サービス包括型)の経営

ヴィラ清川 (定員7名) 愛甲郡清川村煤が谷字姥石661番地

(2) 理事会、監事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の構成

① 理事 6名
理事長 高橋 通良
理事 高橋 通良
山口 晴一
小泉 一郎
須藤 俊男
中里 勝孝
中村 良枝

② 監事 2名
黒井 朝久
水地 啓子

③ 評議員 7名
伊藤 康雅
大塚 滋
朝倉 徳男
水島 米子

児玉 利治
黒部 光司
青山 元彦

- ④ 評議員選任・解任委員 3名
黒井 朝久 (内部)
中川 重年 (外部)
真壁 洋道 (外部)

- ⑤ 苦情解決委員
水地 啓子
大沢 知子

2 評議員会・理事会の開催及び監事監査の実施状況

(1) 評議員会の開催

開催年月日	議 題		
第1回評議員会 30, 4, 27	第1号議案	理事1名の選任の件	承認
定時評議員会 30, 6, 28	報告事項	平成29年度事業報告について	承認
	第1号議案	平成29年度計算書類・財産目録の承認の件	承認
	第2号議案	その他	承認

(2) 理事会の開催

開催年月日	議 題		
第1回理事会 30, 6, 1	第1号議案	平成29年度事業報告及び平成29年度計算書類・財産目録の承認の件について	承認
	第2号議案	定時評議員会の招集について	承認
	第3号議案	監事監査報告について	承認
	報告事項	理事長の職務執行状況の報告	承認
第2回理事会 31, 3, 29	第1号議案	平成30年度補正予算(案)について	承認
	第2号議案	平成31年度事業計画(案)について	承認
	第3号議案	平成31年度収支予算(案)について	承認
	第4号議案	理事の任期満了に伴う改選について	承認
	第5号議案	監事の任期満了に伴う改選について	承認
	報告事項	理事長の職務執行状況の報告	承認

(3) 監査の実施

監査実施日 30, 5, 15	黒井朝久、水地啓子監事2名により、法人定款第18条第1項の規程に基づき、平成29年度事業に係わる理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況について監査を実施した。
--------------------	--

就労継続支援B型事業所

平成30年度 ロータス授産センター

就労継続支援B型 事業報告

30年度を振り返って

4月の報酬改定に伴い、大幅に収入減となりました。これを補うために営業日を増やすなどできる限りの努力をしました。

ただ、利用者さんの多くが体調が大きく変化する時期にあたり、通院等で休みが多く、支援を見直さなければならない状況になりました。またご本人を取り巻く家庭環境が大きく変化する方も出てきました。利用者さん個々の状況に合わせた支援について、ご家族とともに見直し、話し合いを持つことが多くなりました。

利用者さんひとりひとりとじっくり向き合い、ご本人にとってより良い支援とは何かを考え続けた1年でした。

30年度内容

施設の基本方針

一般企業で働くことが困難な障害者が、自立した日常生活または社会生活を営むことが出来るよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

基本方針を遂行するために守ったことは

1. “命と人権尊重”
2. “利用者主体のサービス提供”
3. “健康な生活”
4. “職員の資質、専門性の向上”
5. “施設運営の透明性の堅持”

具体的活動

1. 処遇面

(1) 利用者の意思尊重

- ①担当職員の選択制（平成8年度からの継続）
- ②苦情解決責任者による利用者さんご本人からの聴き取り調査（平成8年度からの継続）
- ③利用者自身の主体的な企画、運営による厚生活動の実施（継続事業）
- ④利用者や保護者と共に考える個別支援計画の策定

30年度個別支援計画をケース会議にて原案を策定し、4月に利用者本人及び家族等の同席のもと説明・調整し、ご本人の同意を得て個別支援計画を策定、実施した。

(2) 利用者会の活性化（継続事業）

自分たちの生活は自分たちで決めるという認識が以前に比べ、定着してきている。

(3) 日課

～ 9:00 出勤
9:00～ 9:30 ミーティング・ラジオ体操
9:30～12:00 午前の作業
途中ストレッチ5分
12:00～13:00 昼食・休憩
13:00～15:30 午後の作業
途中ストレッチ5分
15:30～15:50 清掃、帰りの会
16:00 帰宅

(4) 年間行事 別掲

(5) 環境整備・安全

・施設設備の保守点検・清掃委託業務

エレベーター	毎月1回
浄化槽	年6回
浄化槽法定点検	年1回 8/21
防災設備	法定点検2回 7/12, 1/9
受水槽	7/6 清掃、点検
水質検査	7/6
電気設備点検	年6回

(6) 個人情報保護の徹底

前年同様、常に個人情報を意識した行動に、職員全員で努めた。

(7) 健康管理

日時	種別	内容	実施者
毎月	身体測定	身長、体重	支援員
隔月	血圧測定	血圧	支援員
9, 13	定期健康診断	内科、血液検査、血圧測定、メタボ	森腎クリニック
2, 21	定期健康診断	身長、体重、聴力、視力、血圧 血液、尿、内科、心電図、X線 メタボ	全日本労働福祉協会

毎月初旬 身体測定（身長、体重）を支援員が実施

- ・ 嘱託医 森腎クリニック 森忠三
- ・ 協力医 三浦胃腸科クリニック
- ・ " 北山整形外科

(8) 防災

- ・ 災害発生に備え、防災備品等の再点検及び補充をした。
- ・ 非常時用品の確保、特に利用者の常備薬の預かりの継続

防災訓練実施状況

センター・分場

実施日	想定	訓練内容
4, 2	火災	避難・初期消火訓練
5, 1	地震	避難・負傷者搬出訓練
6, 6	火災	避難・通報訓練・初期消火訓練
7, 4	地震	避難
8, 1	火災	避難・初期消火訓練
9, 5	総合	避難・通報・初期消火訓練 (消火器)
10, 3	地震	避難
11, 1	火災	避難・初期消火訓練
12, 5	地震	避難・負傷者搬出訓練
1, 19	体験	厚木防災センターにて総合体験訓練
2, 6	地震	避難
3, 6	総合	避難・通報・初期消火訓練 (消火器)

- (9) 安全 車輻にドライブレコーダーを搭載
防犯カメラ (不審者対応) の設置
平塚市より防災無線ラジオの導入

(10) 授産

授産収入の大半が企業からの受注作業である。本年度は、自動車部品関連とその他の加工が受注できた。

年度	平均工賃 (円) / 月
28年度	15,565
29年度	16,643
30年度	17,094

作業内容は利用者さんの希望を優先とし、作業が過重にならぬよう配慮した。

2. 施設活動の開示、PR

- (1) ホームページにより、情報発信。
スマホ対応ページ作成

- (2) 地域活動への積極的参加

平日に実施される地域活動が少ないため、施設として参加できる行事が限られている。

3. 職員

(1) 職員の資質、専門性の向上

- ・ 施設外・施設内研修状況 別掲

(2) 会議の充実

名 称	内 容	回 数
職員会議	施設全般、利用者全般、職員全般に係るもの	月1回
ケース会議	利用者個人に関すること、支援計画、同モニタリング	月1回

(3) 職員配置状況（直接処遇職員）

前年度平均利用者数	30.5人	
基 本	前年度利用者数/7.5	3.1人
目標工賃達成指導員を含む	前年度利用者数/6	4.1人

直接処遇職員（目標工賃達成指導員をふくむ）

職 種		常勤換算	常勤	非常勤	備考
サービス管理責任者		1	1人		分場兼務
目標工賃達成指導員		1	1人		分場兼務ぶ
センター (定員28名)	職業支援員	3.9	人	5人	
	生活支援員	1.8	1人	2人	
分場 (定員10名)	職業支援員	1	1人		
	生活支援員	0.6		1人	
支援員計		(7.7)			

その他の職員

職 種	常勤換算	常勤	非常勤	備考
管理者	1	1		分場兼務
事務員	1.4		2	
嘱託医	1		1	
運転手	0.6		2	

2019,3,31 現在

以上

生活介護事業報告

30年度について

家族の都合や、本人の体調不良等で毎日通所することが困難な利用者さんが多く、基本的な生活習慣等の支援に重点を置いた1年でした。

1. 基本方針

利用者一人一人の思いやニーズを尊重した日中活動支援を行い、利用者一人一人の個性を大切にすると共に、個々の人生の充実を目指した支援を提供する。

基本方針を遂行するために守ることは

1. “利用者さんの命・人格・人権の尊重”
2. “利用者さん主体のサービス提供”
3. “健康な生活”
4. “職員の資質、専門性の向上”
5. “施設運営の透明性の堅持”

2. 職員

(全体 前年度平均利用者数2.4人、基準上必要職員0.4人)
管理者 1名 (常勤)
サービス管理責任者 1名 (常勤)
生活支援員 1.6名 (常勤1名、非常勤1名)
看護師 1名 (非常勤)

3. 日課

9:00	送迎開始
	連絡帳の確認、着替えの支援
10:00~10:30	ミーティング・体操
10:30~12:00	午前の活動
	自立課題 (利用者さんと相談して決めたもの)
	軽作業、散歩、創作活動、
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~15:00	午後の活動
	歯みがき
	読書、軽作業、軽い体操等
途中1回	ティータイム
15:15	後片付け・帰宅準備・帰りの会
	帰宅 送迎開始
16:00	送迎終了

4 当年度事業実施内容

1. 支援目標
(1) その人らしく

- (2) 健康で楽しい日々
- (3) いきがいと自立

2. 事業内容

- (1) 利用者さんや家族と共に生活介護計画を作成し、それに基づいた個別支援実施
- (2) 利用者さん本人の能力と意欲を尊重し、現在の体力や能力の維持を図った。
日々の活動内容を利用者さんとの話し合いで決定
それぞれの体調に合わせて、毎日、楽しくからだを動かす時間を取った。
- (3) ・地域生活に必要な知識及び能力の向上のために必要な支援の実施
・生活全般を通して、協調性・思いやり等対人関係の援助・指導を実施。
・行事やサークル活動等を通して、必要な対人関係や金銭管理等を支援。
- (4) 相談支援
・利用者さん個々の意見・意思表示を真摯に受け止め、問題解決に努めることにより信頼関係を深め、支援の成果を上げるよう努めた。
- (5) 環境整備
・利用者さんが安心・安全に過ごせるようリスクマネジメントの体制を整えた。
・苦情解決担当者、責任者、委員会を設置。
・防災対策の適切な実施
- (6) 行事及び余暇活動支援

基本行事は就労継続Bと共通

クッキングの実施 月1回（利用者さんの希望により内容を決定）

月	内容	月	内容
4月	サンドイッチ プリン	10月	ロールケーキ パウンドケーキ
5月	カステラアレンジ フルーチェ	11月	パウンドケーキ お茶会
6月	ゼリー ロールケーキ	12月	
7月	フルーツゼリー	1月	ドーナツ
8月	お茶会 バナナケーキ	2月	
9月	ゼリー チョコケーキ	3月	スポンジケーキ

避難訓練は就労継続Bと合同実施

3. 苦情対応

法人苦情対応規程に基づき苦情発生時の迅速な対応
法人単独の苦情対応の第三者委員を設置。
苦情解決責任者、苦情受け付け担当者を配置

4. 健康面

- (1) 健康管理
看護師や嘱託医と相談しながら、利用者さんの健康維持に努めた。
- (2) 健康診断 年2回実施
9月14日 森腎クリニック
2月23日 全日本労働福祉協会

5. 職員・施設

- (1) 職員の資質、専門性向上のための研修実施（別紙）

(2) 会議 施設全体で実施

職員会議 月1回 実施
ケース会議 月1回 実施

(3) 防災対策・危機管理 就労Bと連携

- ・災害発生に備え、避難訓練、施設内の避難路等の確保、防災備品等の整備・充実を図った。
- ・非常時対応のために日頃、利用者さんが服用している薬の預かりをした。
- ・防災組織 就労継続Bと連携
- ・消防計画・管理運営規程に基づく消防設備の保守点検。
- ・避難訓練 就労継続Bと合同実施

(4) 個人情報保護の徹底

法人個人情報保護規定に基づき、常に個人情報保護を意識した行動をとるよう、
職員全員で努めた。利用者自身の意識も引続き育成する。

(5) 環境整備・安全

- ・施設内は、常に清潔、安全、整理整頓に努め、利用者が快適で安全に作業ができる環境を整えた。
- ・エレベーター、浄化槽、防災設備、受水槽、電気設備等の法定保守点検業務の適性実施

(6) 施設活動の開示、PR 就労継続Bと連携実施

- ・ホームページ、ロータス便りにより、施設活動の開示を図る。

以上

平成30年度

行事報告

就労継続支援B型・生活介護

月	日		内 容
4	7	土	花まつり(地域交流事業)
	10	火	カットボランティア
	11	水	日帰りバス旅行(東京ディズニーランド)
5	19	土	土曜レク(カラオケ シダックス)
6	5	火	カットボランティア
	23	土	土曜レク(スポーツ体験会 平塚アリーナ)
	27	水	外食 1グループ
	28	木	外食 2グループ
7	6	金	創立記念日
	13	金	食事会(小田原すたみな太郎)
	21	土	作業出勤日
8	4	土	作業出勤日 PM納涼会
	7	火	カットボランティア
	13~15		夏期休暇
	24	金	映画鑑賞会 伊勢原市民文化会館 (伊勢原育成会より招待)
	28~30		平塚美術館 鑑賞 ※4グループに分かれて
9	13	木	定期健康診断 森腎クリニック
	15	土	作業出勤日
	28	金	カラオケ シダックス
10	2	火	赤い羽根共同募金 街頭募金参加
	2	火	カットボランティア
	6	土	作業出勤日
	15	月	外食 2グループ
	16	火	外食 2グループ
	17	水	外食 3グループ
	18	木	平塚市福祉展参加
	20	土	作業出勤日
11	1	木	一日園長
	18	土	地域交流行事・ロータスマつり(五分一囃子会、音楽バンド、保護者バザーなどボランティア参加)
12	4	火	日帰りバス旅行(富士サファリパーク)

	6	木	インフルエンザ予防接種
	11	火	カットボランティア
	12	水	伊勢原歳末募金活動参加
	15	土	作業出勤日
	21	金	新利用者歓迎会 ボーリング
	24	月	クリスマス会&忘年会
	27	木	大掃除
	28~5		冬期休暇
1	7	月	新年会
	16~18	水	伊勢原市福祉展参加 伊勢原市立中央公民館
	19	土	総合避難訓練 神奈川県防災センター体験
2	1	金	食事会(小田原すたみな太郎 他)
	4	月	節分(豆まき)
	12	火	カットボランティア
	16	土	作業出勤日
	21	木	定期健康診断 全日本労働福祉協会
3	1	金	映画鑑賞、カラオケ
	9	土	作業出勤日
	20	水	防災・減災講習会 講師:平塚パワーズ(施設及び地域)
			保護者懇談会

4月 1日 就労継続支援B型 センター 利用者30名 職員13名

分場 利用者6名 職員2名

生活介護 利用者3名 職員3名

9月 14日 就労継続支援B型 センター 利用者1名通所開始

平成30年度 ヴィラ清川 事業報告

30年度について

30年度の体験利用者数は、前年度に比較し平均的に増加してきている。グループホームでの生活も安定してきているようだ。利用日数も長くなってきているので、本入所に繋げることが今後の課題である。

1. 基本方針

利用者さん一人一人の思いやニーズを尊重し、生きがいを持って楽しく生活が出来るよう、一人一人の個性を大切に日中活動支援並びに夜間支援を行う。また、ご家族が安心して預けることが出来るよう、安全で、健康的な施設づくりを目指すと共に、自立と社会活動の促進を図り、地域社会に開かれた施設運営に努める。

基本方針を遂行するために守ることは

1. “利用者さんの命・人格・人権の尊重”
2. “利用者さん主体のサービス提供”
3. “健康で落ち着いた生活”
4. “職員の資質、専門性の向上”
5. “施設運営の透明性の堅持”

2. 職員

管理者 1名（常勤）
サービス管理責任者 1名（常勤）
サービス支援員 0.7名（常勤1名、非常勤1名）
世話人 1.5名（非常勤3名）
夜勤スタッフ（非常勤・常勤）

3. 日課表

6:00 起床、身支度等
6:40～7:30 朝食、服薬、片づけ
7:30～8:00 身支度、通所準備、出勤準備
8:00～9:00 自由時間、出発
(各自、日中活動)
16:00 帰宅、自由時間
17:30～18:30 夕食、服薬、片づけ
18:30～21:30 入浴、自由時間
22:00 就寝

4. 30年度 支援実施内容

支援目標

- ・そのひとらしく
- ・健康で生きがいのある日々
- ・家庭の温かさで

- ・相談支援 安全で健康な生活を送ることが出来るよう助言・援助を行った。
- ・食事の提供 朝食・夕食（月～金）
土・日・祝日は3食
ご本人の希望を取り入れながら、バランスのとれた食事を提供することに努めた。
- ・健康管理 体重測定、健康診断、通院同行等健康的な生活を送るための支援を行った。
生活習慣病、感染症の予防に努めた。
- ・入浴・排せつ 基本の生活スキル定着のため、必要な範囲及びご本人の同意を得た範囲入浴・排せつの支援を実施。
- ・緊急時の対応 緊急時の連絡体制を確保。連絡先・連絡方法は共同生活居住内の見やすい場所に掲示。
- ・行事 入所者が1名だったため、行事は少なかった。
年末の官が瀬のクリスマスは、体験利用者さんも一緒に3回実施。大変好評で3度も見学に出かける利用者さんもいた。
- ・環境整備 施設内は、常に清潔・安全・整理整頓に努め、利用者が快適、安全に生活ができる環境整備に配慮。また、感染症等が発生しないよう職員間の連携を密にし、清潔・安全に配慮した。
利用者さんが安心・安全に過ごせるようリスクマネジメントの体制を整えている。
- ・苦情対応 法人苦情対応規程に基づき苦情発生時の迅速な対応
法人単独の苦情対応の第三者委員を設置。
苦情解決責任者、苦情受け付け担当者を配置
- ・虐待防止 常に人権を意識した支援をし、職員個別に研修を実施した。
- ・防災対策
 - ・危機管理
 - ・防犯カメラを設置
 - ・警察等に通報できる機器を設置
 - ・セコムと契約
 - ・災害発生に備え、昼間・夜間避難訓練の実施
 - ・施設内の避難路等の確保、防災備品消防計画・管理運営規程に基づく消防設備の保守点検（業者委託）
 - ・防災設備、電気設備等の法定保守点検業務の適性実施
- ・健康管理 嘱託医及び協力医と連絡をとりながら、利用者さんおよび職員の疾病予防に努めた。
- ・個人情報保護の徹底 法人個人情報保護規定に基づき、常に個人情報保護を意識した行動をとるよう職員全員で努めた。利用者自身の意識も育成中。
- ・職員 職員の資質、専門性向上のために、系統的、効果的な研修を実施。
採用時研修
- ・その他 共同生活援助計画の作成と共同生活援助計画に基づき利用者さん一人一人に応じて必要な支援を行った。
その他、関係市町村等連絡調整を密にした。

平成30年度

事業及び行事

共同生活援助 ヴィラ清川

月	日	内 容
4	5	避難訓練 地震
	6	職員会議
	24	業者による除草
5	17	職員会議
6	12	職員会議
7	5	七夕献立 夕食
	21	避難訓練 地震
	25	職員会議
8	31	消防点検 足柄防災
9	4	お誕生日会 夕食リクエストメニュー4
	13	定期健康診断 森腎クリニック
10	1	日中開所 台風の為
	3	避難訓練 火災
	10	職員会議
11	17	ロータス祭り 参加
	29	夜間外出 宮が瀬イルミネーション
12	4	グループホーム クリスマスのライトアップ
	12	夜間外出 宮が瀬イルミネーション
	19	夜間外出 宮が瀬イルミネーション
	24	クリスマス献立 夕食
1	7	入所希望者の見学
	15	職員会議
	19	厚木防災センターで防災訓練参加
2	26	防災点検 足柄防災
3	12	浄化槽法定点検
	28	職員会議

30 年度

研修参加状況

施設外研修

(全体)

年	月	日	内 容	参加人数
30	4	6	平成30年4月制度改正及び報酬改定に伴う事業所等説明会	1
30	4	17	平成30年度障害福祉施設・事業所団体説明会	1
30	7	18	平成30年度障害福祉サービス等報酬改定	1
30	7	23	平成30年度障害福祉施設等防犯研修会	1
30	7	25	平成30年度障害福祉施設等防犯研修会	1
30	10	19	平成30年度第2回神奈川県指定障害福祉サービス事業所等に対する指導講習会	1
30	11	1	社会福祉法人監査について	1
30	11	19, 21	神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修 マネージャーコース	1
30	12	10	苦情解決研修会(事例検討)	1
30	12	13	誰もが「助けて」と言える社会をめざして	2
31	1	30	安全運転管理者法定講習	1
31	2	5	若年性認知症の理解	1
31	2	13	障害者地域サポート事業等の見直しに拘わる説明会	1
31	3	12	潜在相談支援専門員等研修	1
31	2	21, 22	サービス管理責任者(共同生活援助)	1
31	3	12, 13	サービス管理責任者(介護分野)	1
31	0	0	サービス管理責任者(介護分野)	1
31	3	13	潜在相談支援専門員等研修	1

施設内研修

年	月	日	内 容	
30	5	21	人権擁護について	職員全員
30	7	23	災害時の対応について	職員全員
30	10	22	安全運転研修	職員全員
31	1	19	厚木防災センター体験研修・職員向け防災訓練	利用者・職員
31	3	11	誤嚥防止及び対応について	職員全員
31	3	20	防災・減災公開講習会(外部講師による)	利用者・職員・家族・地域

平成30年度 利用状況表

開所日数(就労継続B・介護)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
開所日数	21	22	22	21	21	19	23	22	20	19	20	21	251	244

利用状況

(就労継続B型)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延人数	前年度
センター	男	20	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21	247	244
	女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84	96
	計	27	27	27	27	27	28	28	28	28	28	28	28	331	340

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延人数	前年度
分場	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	36
	女	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	36
	計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	72

(生活介護)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延人数	前年度
生活介護	男	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	36
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	48

(共同生活援助)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
ヴィラ清川	開所日	21	22	22	21	21	19	23	22	20	19	20	21	251	198
	入所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	7
	体験延人数	15	16	15	20	24	19	19	24	21	19	21	24	237	206
	体験実人員	6	6	6	7	8	6	7	5	7	5	5	7	75	68
	実人員計	7	7	7	8	9	7	8	6	8	6	6	8	87	75